

<はじめに>

①最大データ量（取扱い量）

この「儲かる標準原価計算」を使用して計算できる「最大データ量（上限）」を、下表に記載します。
本 EXCEL ファイルでは、これを超えて計算はできませんので、予め、ご確認をお願いします。

種類	取扱い最大データ量（上限）
原価費目数	15 費目 労務費、減価償却費などの加工費の原価費目の数です。
工程数	500 工程 ※原価計算を計算する工程、生産エリアの数です。 必ずしも、設備の台数ではありません。
工程の固定資産	3000 台 ※設備の台数です。固定資産台帳の中で直接、生産に寄与する生産設備の数と概ね、等しくなります。
標準原価の算出数 標準時間の登録数	10000 行 ※工程・製品毎の標準時間の設定、登録数です。 100 品番を段替えせずに専用機として生産している場合は、「100 行」になります。 500 品番（全品番）を 20 工程で生産している場合は、「10000 行」になります。 100 品番（全品番）を 100 工程で生産している場合は、「10000 行」になります。

尚、この範囲、上限は、比較的簡単に変更が可能ですので、「お問合せ先」まで、ご連絡をいただければ、可能な範囲内で対応いたします。

**※むやみに、列の追加や行の追加、セルの移動は行わないでください。
正しく計算されない場合があります。**

②印刷時のご注意

「儲かる標準原価計算」の EXCEL ファイルでは、「最大行数」として、データ量に汎用性を持たせています。従いまして、最大行数に達しない場合には、データの入力されていない「罫線だけのページ」も出てまいります。

お手数ですが、印刷する際は、**必ず、印刷するページを指定して**印刷をお願いします。